

土木学会 環境工学委員会
臨床環境技術小委員会・環境技術思想小委員会
合同訪問調査のご案内

小規模水道をとりまく昨今の厳しい状況を背景として、水道事業体に近い立場からは、今後は住民の参画を得つつ水道を支えていく体制作りが必要であるとしばしばいわれます。しかしながら、実際には、人口減少と高齢化に伴って地元による管理の困難さも増している、あるいはすでに限界に達していることから、住民は、例えば、役場による管理に移行することを要望している場合も数多いとみられます。この際、水道料金の大幅な上昇が予想されますが、それにもかかわらず将来にわたる持続可能性の観点から役場管理を強く願っているのです。実際、奈良県内の「簡易水道エリア」では、地元管理から村直営による管理へ徐々に移行してきています。すなわち、水道事業体に近い立場からのニーズと現場のニーズが逆向きなのです。これに対して、地域自律管理型水道が持続的に運営されている成功事例が北海道に存在することが報告されています(牛島健ら:土木学会論文集G(環境)(環境工学研究論文集第55巻),74(7),Ⅲ_143-Ⅲ_152,2018.)。

以上を背景として本合同訪問調査を企画いたしました。これを通じて、住民による持続的管理が可能となるための要件、都道府県や市町村との連携や支援方策、現行制度やしくみの課題などについてともに考えたいと思います。

臨床環境技術小委員会委員長 京都大学 伊藤禎彦

プログラム

11月4日(月・祝)

午後 ・地域自律管理型水道に関する報告会参加
北海道富良野高等学校生徒さんによるプレゼンテーションを含む
・地元管理者の方へのインタビュー

場所：北海道富良野高等学校 2階 視聴覚教室（予定）

11月5日(火)

午前 富良野市上下水道課でのヒアリング

午後 地元管理されている水道施設の視察

- プログラムは地元の方のご都合により変更される場合もあります。
- 参加費 無料
- 小委員会委員でない方のご参加も歓迎いたします。
- 参加を希望される方は、**10月22日(火)までに、事務局(河合 E-mail: kawai@urban.env.kyoto-u.ac.jp)までご連絡ください。**詳細やご参加いただく際の留意点について連絡させていただきます。
- 宿泊は各自でご手配ください。
- 連絡先

小委員会事務局: 秘書 河合香織 E-mail: kawai@urban.env.kyoto-u.ac.jp TEL:075-383-3257

小委員会幹事: 研究員 堀さやか E-mail: horisayaka.3r@kyoto-u.ac.jp TEL:075-383-7503

小委員会委員長: 教授 伊藤禎彦 E-mail: itoh@urban.env.kyoto-u.ac.jp TEL:075-383-3254